

鹿屋寺子屋かわら版

7月号【第38号】

令和6年7月24日発行

鹿屋市教育委員会

生涯学習課

TEL 44-0321

FAX 41-2935

7月20日から夏休みに入りました。今年も「猛暑」のようです。夏休みは、「朝の涼しいうちに勉強して、10時までは家で過ごすようにしましょう。」と指導がありますが、最近朝から気温が上がり、昔ほど涼しさを感じなくなったような気がします。

さて、先日の新聞等で、「夏休みを前に旅行やキャンプなど日頃できない計画にワクワクしている子どもがいる一方で、遠出どころか給食がないことで、子どもの栄養状態に不安を抱く困窮世帯が少なくない。夏休みの廃止や短縮を望んでいる保護者もいる。」という報道がありました。その理由は、食費等の生活費の増加、昼食準備の手間や時間がかかる、体験活動をさせる経済的余裕がないことなどです。記事では、こども家庭庁の「こどもの居場所づくり」にふれ、家庭や学校以外にも安心して過ごせる居場所として、子ども食堂をあげていました。

鹿屋寺子屋事業の目的に、「(前略)学ぶ環境が十分整っていない子どもたちを対象に(中略)地域とともに安心して子育てができるまちづくりに資する。」という文言があります。記事にあるような家庭環境にある子どもたちの居場所として、寺子屋事業の充実・拡大を図っていく必要があると改めて感じることでした。また、夏休みには特別なプログラムを組んで参加者を広く募るなど、地域と協力しながら「こどもの居場所づくり」に知恵を出し合っていくことも考えられます。

「東サンサン塾」～6月の様子～

【場所】東地区学習センター

【期日・日時】毎週金曜日、15:00～18:00

【塾生の感想】「宿題をするのはつかれるけど、それを終わらせるのがこのじゅくだと思います。」

【指導員から】「みんなが、がんばって宿題をしてくれました。休憩も15分間、元気に遊んでいました。今日も元気で楽しく過ごせたとの感想に安心しました。」



「美里吾平塾」 ～ 5月の様子～

【場所】吾平振興会館

【期日・日時】毎週月曜日、15:00～18:00

【塾生の感想】「今日は、今年初めての寺子屋でした。私は最後の寺子屋なので、ちゃんと宿題が終わるといいです。また、ドリルまでできるようにがんばります。」

【指導員から】「今年度初の寺子屋。初めて参加する子どもたちもあり、最初は少し戸惑っていたが、すぐに馴染み、宿題を進めたり、みんなとドッジボールをする姿が見られた。子どもたちの順応性はすごい。これから1年、子どもたちがどれほど成長するか楽しみである。私もそのお手伝いができるように頑張る。」



「寿北ランラン塾」 ～ 5月の様子～

【場所】札元1丁目公民館

【期日・日時】毎週金曜日、14:30～18:30

【塾生の感想】「初めてのランラン塾でした。開講式では、1人で『心得』を読んで緊張しました。自己紹介も緊張しました。最後の1年なので先生とみんなと仲良くし、みんなのお手本にもなりたいです。」

【指導員から】「昨年度からの引き続きの児童がリーダーシップを発揮してくれました。開講式の時は、一人ずつ大きな声で抱負を述べてくれました。1年間頑張っていこうと思いました。」

